

地下道冠水溺死の検証終了 「対応遅れ」対象にせず

市の危機管理意識欠如 指摘の声

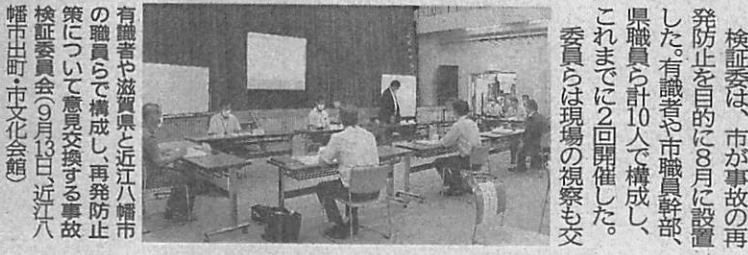
近江八幡

7月の豪雨で近江八幡市内の地下歩道が冠水し女性が溺死した事故について、有識者らでつくる同市の事故検証委員会が検証作業をおおむね終えた。12月中旬にとりまとめる中間報告には再発防止策などが盛り込まれる予定だが、同委の議論は地下歩道の管理体制や構造上の問題などに軸が置かれ、過去にもあった冠水時の対応の遅れなどは検証対象にならなかった。専門家は、過去の徹底検証がなければ住民の命は守れないと指摘する。



女性がなくなった地下歩道。右手にJRの線路が通り、道路奥側は県道の地下歩道に接続している(近江八幡市安土町)

事故現場は、JR安土駅北東の線路脇を通るスロープ状の市道で、線路下をくぐる県道の地下歩道につながっている。7月10日、近くに住む若田鈴美さん(72)が亡くなっているのが見つかったのが午後3時10分ごろ。県道部分は同20分までに通行止めになっていたが、市道部分の通行止めは若田さんが見つかった後、午後4時45分だった。



有識者や滋賀県と近江八幡市の職員らで構成し、再発防止策について意見交換する事故検証委員会(9月13日、近江八幡市出町・市文化会館)

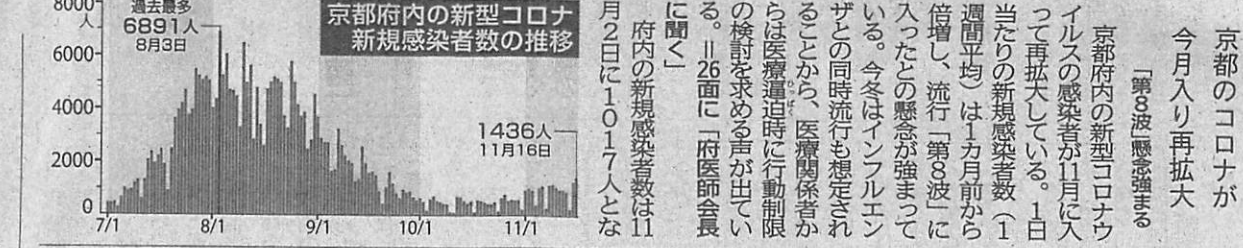
「教訓生かせなければ命守れぬ」 遺族や専門家

市内に記録的短時間大雨情報が出された事故当日は地下歩道で約3分の冠水があったとみられることや、行政の一連の対応状況を確認。県道と市道部分で統一した通行規制の基準がない▽地下道の構造的問題で想定を上回る雨水が広範囲から現場に流入したことなどを課題として挙げた。

再発防止に向けては、「県と市で広域的な通行規制の基準の策定が必要だ」「地下への雨水の流入対策が、雨などの意見が出された。事故当日の対応や対策については議論や検証が進んだが、行政の危機管理意識の問題がなかったのかには踏み込まなかった。現場の地下歩道は、昨年8月にも大雨で冠水していた。この時も、県の通行止めが午前10時25分だったのに対し、市は午後7時と対応に大幅なずれがあったことが明らかになっている。県と市で十分に情報共有されておらず、通行規制のタイミングなど、災害時の対応について協議されていなかった。市の内部でも、対応に問題がなかったかを独自に検証する場を設けてこ

なかった。今年7月の事故当日には、現場が生徒の通学路になっている地元中学校が午前中、2度にわたって冠水の状況を市に問い合わせていた。だが、若田さんが発見されるまで市は現場の確認すら行っていないからという。市は「事故につながる可能性がある」という認識は正直なかった」と認め

「高野女性が勝手に入った」「大雨なら仕方ない」。ニュースを見た人たちが、母の死をそんな理解で片付けてしまうのはつらい。若田さんの長男木下良町(48)は滋賀県甲良町(48)は胸の内を明かす。「昨年の冠水以降、行政が教訓を生かした対策をとってほしい母は亡くなっていなかったんじゃないか。事故が起らないようにしよう」という意識があったのかを知りたいと訴えている。(杉原慶子)



京都のコロナが今月入り再拡大 「第8波」懸念強まる
京都市内の新型コロナウィルスの感染者が11月に入ってから再び拡大している。1日当たりの新規感染者数(1週間平均)は1カ月前から倍増し、流行「第8波」に入ったとの懸念が強まっている。今冬はインフルエンザとの同時流行も想定されることから、医療関係者からは医療逼迫時に行動制限の検討を求める声が出ている。26日に「府医師会長に聞く」
府内の新規感染者数は11月2日に1017人と低下が指摘されているオミクロン株派生型の「XBB」[「BQ」]「BS」系統の感染者が計9人確認された。府健康福祉部は「派生型が主流となれば感染が急拡大する可能性がある」と警戒感を強める。
感染対策として府は、新型コロナウイルスの年内接種とともに、インフルエンザのワクチン接種も呼びかけている。医療逼迫を回避するため、現在確保している65万回分の抗原検査キットを活用し、発熱外来で重症化リスクの低い発熱者に配布し、医療関係者の負担を軽減する方針だ。(白松亮太郎)

鳥インフル対策 県が養鶏農家に求める
鳥インフル対策 県が養鶏農家に求める
鳥インフル対策 県が養鶏農家に求める
鳥インフル対策 県が養鶏農家に求める

鳥インフル対策 県が養鶏農家に求める
鳥インフル対策 県が養鶏農家に求める
鳥インフル対策 県が養鶏農家に求める

観光客の危険な道路横断が問題となっている白鬚神社(高島市)前の安全対策を話し合っ

観光客の危険な道路横断が問題となっている白鬚神社(高島市)前の安全対策を話し合っ

観光客の危険な道路横断が問題となっている白鬚神社(高島市)前の安全対策を話し合っ

観光客の危険な道路横断が問題となっている白鬚神社(高島市)前の安全対策を話し合っ

観光客の危険な道路横断が問題となっている白鬚神社(高島市)前の安全対策を話し合っ

観光客の危険な道路横断が問題となっている白鬚神社(高島市)前の安全対策を話し合っ

観光客の危険な道路横断が問題となっている白鬚神社(高島市)前の安全対策を話し合っ

東近江―三重・伊賀「名神名阪連絡道路」

高島

閉鎖

琵琶湖に向かって国道161号を横断する観光客が後を絶たず、昨年12月には横断中の男性

全国で鳥インフルエンザ

受け皿整備、休業日確保を

部活動地域移行指針案